

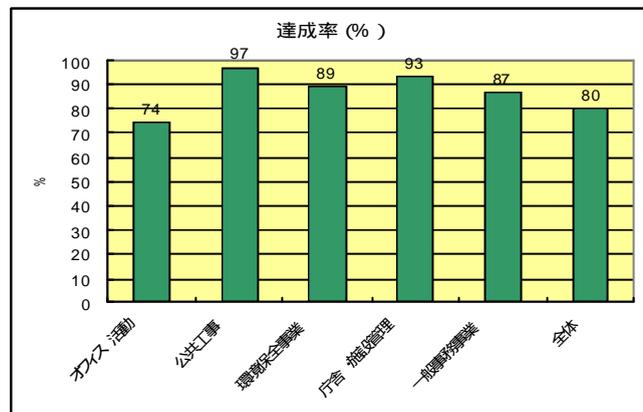
札幌市環境マネジメントシステム

ISO14001 平成 14 年度の取組成果

札幌市では、平成 13 年 11 月に環境マネジメントシステムの国際規格である ISO14001 を取得してから、省資源・省エネルギーなどの環境負荷の低減に取り組んできましたが、この度、平成 14 年度の取組成果がまとまりましたので、その概要を報告いたします。

目標達成状況

- ・各部局で合計 2614 の目標が立てられ、そのうち 2092 の目標が達成され、全体の達成率は 80% となりました。
- ・13 年度の目標達成率は 84% だったので、4% 下降しました。
- ・この原因としては、オフィス活動の達成率が上昇しなかったことや、目標設定上の要因が考えられます。



各分野の取組内容

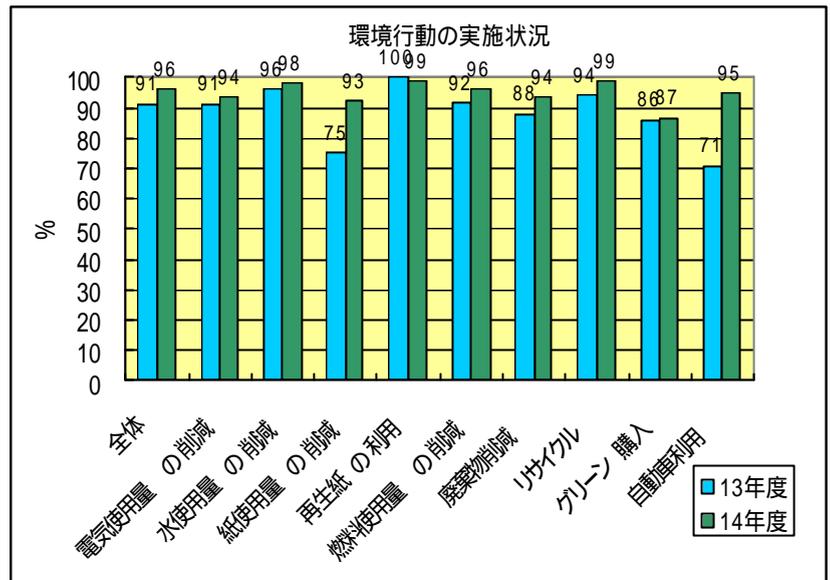
分野	取組内容	目的・目標の例	実施部局
オフィス活動	事務室での日常活動に伴う環境負荷を低減	・資源・エネルギーの削減 ・リサイクルの推進 ・グリーン購入の推進等	全部局
公共工事	土木工事・建築工事・雪対策の3分野で環境負荷を低減	・建設副産物のリサイクルの推進等	工事関連部局
環境保全事業	札幌市環境基本計画の推進	・地球環境の保全 ・生活環境の保全 ・環境教育・学習の推進等	環境関連部局
庁舎・施設管理	処理施設などで環境汚染の危機管理を徹底	・有害物質の適正管理等 ・資源・エネルギーの削減	施設所管部局
一般事務事業	本来業務における環境配慮内部事務の改善・効率化等	・市民・事業者への環境配慮の働きかけ ・事務事業の効率的な執行等	全部局

環境マネジメントシステム

環境に配慮した事務事業を行うための仕組み。P D C A (Plan: 計画, Do: 実行, Check: 点検, Action: 見直し) サイクルの繰り返しにより事務事業の継続的な改善を図るもので、「環境方針」に基づき、環境目的・環境目標、環境マネジメントプログラムなどの「計画」を策定し、これらに基づき確実に「実行」し、定期的に目的・目標の達成状況やプログラムの運用状況を「点検」し、問題があれば「見直し」を行います。

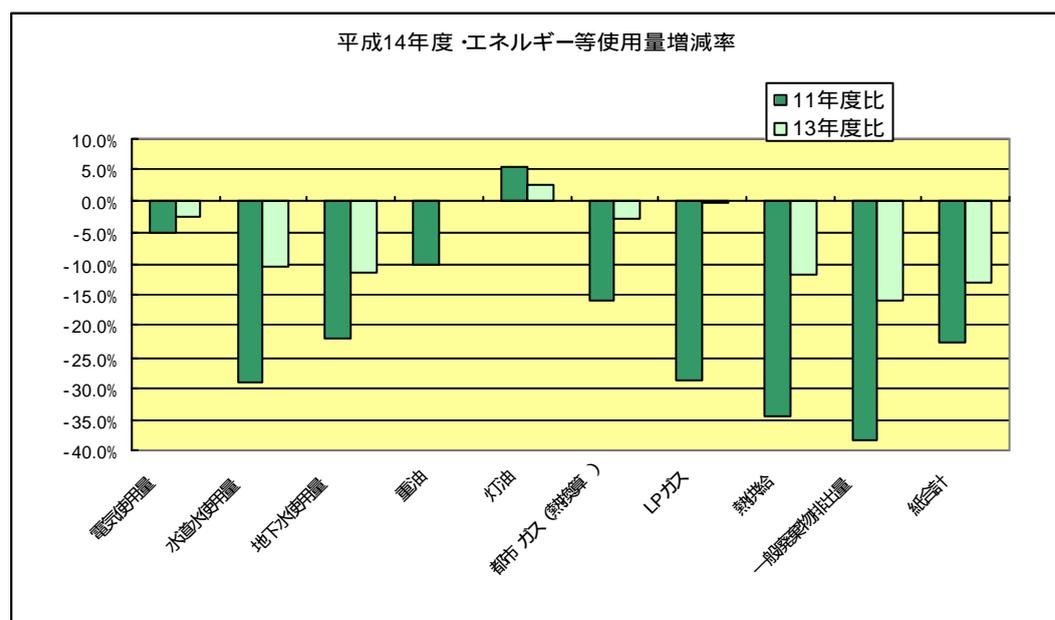
環境行動の実施状況

・14年度の結果は全体で96%と13年度の91%よりも上回りました。また、項目別でもほとんどの項目で13年度を上回っており、環境行動については定着していると考えられます。



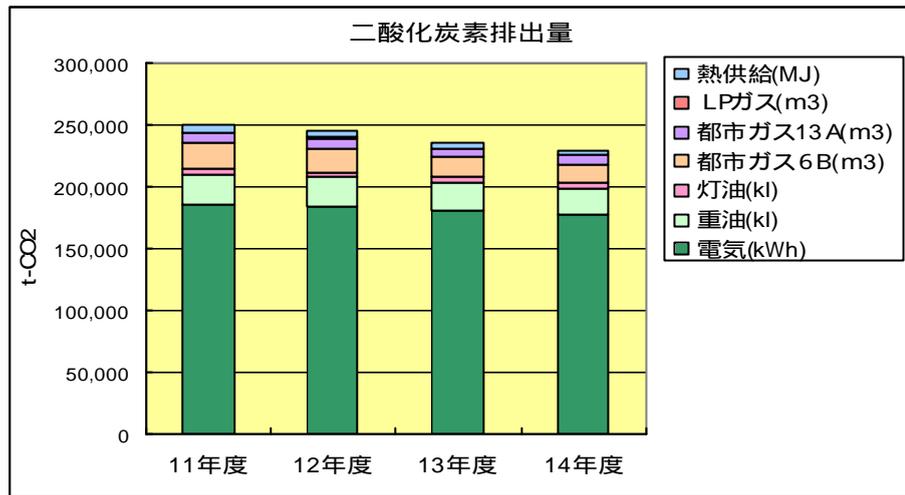
資源・エネルギーの使用状況

- ・液体燃料を除くと、全般的に11年度（基準年度）及び13年度と比較して、節減効果により使用量は減少しています。また、11年度よりも13年度の減少率が低くなりました。
- ・液体燃料のうち灯油の使用量は、重油から灯油への変換等の理由により、11年度・13年度よりも増加しました。



二酸化炭素排出量の削減

- ・14年度は、13年度比で6,515 t (2.7%)削減され、これは14年度の本庁舎の電気使用量の約4年分、札幌ドームの2.1杯分に相当します、11年度比では19,891 t (7.9%), 12年度比では15,836 t (6.4%)とそれぞれ削減されました。
- ・排出割合では、オフィス系は13%, 事業系は87%となります。そのうち最も排出量の多い事業は交通事業で27%, ついで、下水道事業の20%となります。また、雪対策では14%となりました。



経費節減効果

- ・14年度は、13年度比で3億545万円(3.7%)節減されました。12年度比では6億121万円(7.0%), また11年度比では8億8291万円(10%)の節減となります。

平成14年度経費節減効果

項目	平成11年度 使用量	平成12年度 使用量	平成13年度 使用量	平成14年度 使用量	単価	増減額(万円) (11年度比)	増減額(万円) (12年度比)	増減額(万円) (13年度比)	備考
電気(kWh)	521,164,274	515,146,434	509,642,316	485,792,844	12.06円/kWh	-30,588	-23,340	-16,702	
水道水(m3)	2,009,866	1,646,944	1,597,735	1,428,456	345.00円/m3	-20,069	-7,538	-5,840	水道水の消費量を除く
下水(m3)	2,004,922	1,644,637	1,596,027	1,423,844	168.00円/m3	-9,762	-3,709	-2,883	下水道料の使用量を除く
地下水(m3)	361,471	327,918	309,955	238,931	168.00円/m3	-2,069	-1,466	-1,199	下水道料として計算 下水道料の使用量を除く
重油(kl)	8,810	8,410	7,926	7,931	26,288.00円/kl	-2,311	-1,289	8	
灯油(kl)	1,682	1,847	1,726	1,769	33,640.00円/kl	265	-263	147	
都市ガス6B(m3)	9,912,536	9,152,246	7,537,911	6,967,543	43.46円/m3	-12,739	-9,465	-2,479	
都市ガス13A(m3)	3,348,986	3,806,020	3,378,349	3,436,176	95.60円/m3	894	-3,536	553	
LPガス(m3)	22,652	16,240	16,230	16,160	159.07円/m3	-103	-1	-1	
熱供給(MJ)	97,336,999	89,775,066	71,982,054	63,602,260	2.48円/MJ	-8,366	-6,491	-2,076	
一般廃棄物(kg)	2,805,665	2,599,753	2,065,794	1,736,405	32.50円/kg	-3,475	-2,868	-1,071	
資源性物(kg)	1,563,540	1,657,568	1,598,963	1,872,875	27.50円/kg	851	592	753	
コピー用紙(kg)	468,404	471,905	384,173	405,541	117.50円/kg	-739	-780	251	
合計	-	-	-	-	-	-88,291	-60,121	-30,545	

環境方針

1 環境保全行動への決意

地球温暖化が進行していったとき、私たちは生き続けることができるでしょうか。温暖化の進行によって世界の食糧生産は大きく減少すると予測され、お金を出しても食料を買えなくなります。

食料（穀物）自給率が 30 パーセントにも満たない日本では、食料が手に入らなくなり生きていけなくなるのです。

温暖化とは単に気温が上がることではありません。気候が変動し異常気象が起こります。既に世界各地で豪雨や干ばつなどにより、1998年から99年だけで10億人以上が被害を受けました。

昨年、ヨーロッパでは何百年に一度といわれる最悪の洪水に襲われ、今年は熱波と乾燥に見舞われ、多くの人が死んでいます。

私たちが今のままの生活をしていると、2010年ころから気温が急上昇し、異常気象や農作物の不作、生態系の破壊などがさらに深刻化すると言われています。あと10年もありません。

今すぐ私たちがマイカー利用を少なくしたり、節電や節水などの省エネルギー行動を起こさないと手遅れになります。次の代の生存をも危うくするのです。

私は、札幌市の事業活動を推進するにあたり、環境法令等を守ることはもとより、環境への配慮を優先して考え、市民・事業者の皆さんと一緒に環境保全行動を起こし、継続的に改善を進めます。

この市政運営の基本的仕組みとして、国際規格であるISO14001（環境マネジメントシステム）を活用し、世界に誇れる環境の街の実現を目指します。

2 環境保全行動への基本方針

(1) 各局区等の取組み

全ての部局は、所管する事務事業について、その立案から実施までの全般にわたり、自らの課題として、環境配慮の考えを組み込むことにより行政コストを減らす取組みを行い、汚染の予防はもとより環境への負荷を継続的に低減します。

(2) 環境活動の公表

この環境方針及び環境活動の成果は、市民に公表するとともに、市民からの意見を市政運営に反映させるよう努めます。

(3) 環境配慮の取組み

以下の項目について重点的に取り組みます。

省資源、省エネルギーを推進します。

廃棄物を削減します。

環境負荷の少ない製品を積極的に使用します。

公共工事における環境負荷を低減します。

委託業務における環境負荷を低減します。

環境汚染の危機管理を徹底します。

市民・事業者の自律的な環境保全活動を支援します。

事業者に対して環境に配慮した事業活動を働きかけます。

環境保全産業の創出を支援します。

平成15年10月1日

札幌市長 上田 文雄

札幌市環境マネジメントシステム 平成14年度実施結果報告書

平成15年10月

札幌市環境局環境マネジメント担当課

〒060-8611

札幌市中央区北1条西2丁目

電話 011-211-2879

<http://www.city.sapporo.jp/kankyo/>



さっぽろ市

02-J00-03-608

15-2-92